



末広(校長室だより)

千葉市立末広中学校 校長室だより第23号 令和8年10月8日発行

思春期教室を実施しました

【赤ちゃんふれあい体験学習】

10月1日(金)、17家族、17人の赤ちゃん(月齢4月～11月)をお迎えし、思春期教室(赤ちゃんふれあい体験学習)を実施しました。これまで生徒たちは、妊婦体験や赤ちゃん人形を使った抱っこ練習を重ねてきました。しかし、いざ本物の赤ちゃんを前にすると緊張感は最高潮に。人形の時とは違う「命の重み」に、恐る恐る手を伸ばす姿が印象的でした。赤ちゃんの表情をうかがいながら、いざ抱っこ。おとなしく抱っこをさせてくれる子もいれば、激しく泣き出してしまう子もいました。慌ててママの元へお返しし、ママの胸の中でピタッと泣き止む赤ちゃんを見て、生徒たちは「やっぱりお母さんには敵わない」「親子の絆ってすごい」と、改めて家族のつながりの深さを実感していました。時間が経つとお互いに少しずつ打ち解け、哺乳瓶での水分補給に挑戦し、見事成功してホッと笑顔をこぼす生徒の姿も見られました。

ふれあい体験では、お母さん方から出産・育児の大変さ、それ以上の楽しさや喜びについて直接お話を伺いました。自分がどれほど大切に育てられてきたのかを振り返り、将来の家庭や子育てについて、より具体的に深い思いを馳せる貴重な一日となりました。

＜写真上＞生徒のジャージをギュッと握りしめて抱っこされる赤ちゃん
＜写真中央＞指をしゃぶりながら生徒と見つめ合う赤ちゃん
＜写真下＞産まれたばかりの頃の赤ちゃんの写真や赤ちゃんがお腹の中にいるときのエコー写真を見せてもらっています。



【助産師講話】

赤ちゃんふれあい体験の後、川島助産院の川島広江先生を講師として、「生命(いのち)を守り育む～あなたらしさが輝くために～」という演題で講話をしていただきました。

＜話していただいた主な内容＞

- ・痩せている女性と妊娠、出産時の健康被害
- ・妊娠中の人とパートナーの心
- ・生と死の狭間で生まれてくる赤ちゃん
- ・戦いに勝ち、産声を上げる赤ちゃん
- ・性ホルモンの働き
- ・命を守る大切な睡眠
- ・思春期の体と心と社会性
- ・バウンダリー(心の境界線)
- ・助産師になって抱いた悩み
- ・虐待など

多くの妊婦さんや赤ちゃんに接してこられた豊富なご経験に基づくお話は、どれも深く心に響くものばかりでした。



前期終業式を迎えて

本日、無事に前期の終了式を迎えることができました。4月の始業式・入学式から始まり、日々の授業や様々な活動を通して、子どもたちは心身ともに大きく成長いたしました。行事のたびに、また日々の生活の中で、子どもたちが前を向いて挑戦できたのは、ご家庭での温かい励ましと支えがあったからに他なりません。

本日、お子様を通じて前期の「通知表」をお渡しいたしました。結果の数値だけでなく、その裏側にある子どもたちの努力のプロセスや、一歩前進した姿に目を向け、ぜひご家庭でたくさん褒めてあげてください。後期も教職員一同、子どもたちの成長に向けて全力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。